



こどもの森のこどもたちをみんなで

保育長 川井 直子

色とりどりの紫陽花が少しずつ色づき始め、梅雨の訪れを感じる時期になってきました。

梅雨に入る前に保育園のこどもたちは近隣保育園の園庭開放に出かけ砂遊びやロッククライミング、園庭での追いかけっこを楽しんでいます。

幼稚園のこどもたちは、湯島園庭までバスで出かけ、園庭の草花からテントウムシを見つけたり、滑り台や鉄棒を楽しんだりと戸外遊びを満喫し園に戻ると「楽しかった。」と笑顔で出来事を話してくれます。



小石川ここわ保育園



小石川植物園



湯島園庭

今年度の園内研修では、令和9年度子ども園開設にむけて教職員で園児の成長発達をきめ細やかに共有し、保育士・幼稚園教諭がどのような関わりをすることでこどもたちの成長・発達を支えることができるのか、どのような環境を用意することが大切なのかを一緒に学んでいます。

その中で幼稚園教諭が1・2・3歳児クラスに入り、4、5月の慣れ保育の様子と一緒に体験する機会を作っています。初めて保護者から離れ、泣いていたこどもたちが、泣きやむ時間が増え保育者の膝に座り絵本を見たり、保育者と昼寝をしたりする様子を観察し、こどもの気持ちを受容する大切さや、保育環境として人的環境の大切さを感じています。

カリキュラムを作るにあたり、物的環境（施設面・保育教材など）と人的環境（保育士・幼稚園教諭など）がある中、こどもたちの一番近くでモデルとして見られている私たち教職員。

私たち保育士・幼稚園教諭がどのような関わり方をしていくのかを考え、こどもたちが自分を大切に、幸せだと感じられる環境を作っていくために、これからも教職員一同学びこどもたちに提供していきたいと思えます。